

令和5年5月8日

自民党青年局

令和5年青年局幹部役員台湾訪問団 事後報告書

青年局は、党の台湾交流の窓口として、昭和40年代より約半世紀にわたり相互交流事業、海外研修、幹部役員訪問などを通じ、交流促進と継続的な信頼関係の構築に努めてきた。

台湾は本年、大統領選挙・立法委員選挙を来年1月13日に控えた選挙キャンペーンイヤーであり、政権や各党の動向・現状を把握することが今後の台湾交流における重要な要素となることから、5月3日から7日の予定で青年局幹部役員が台湾を訪問した。

【メンバー】

鈴木 憲和 青年局長 (衆)
藤原 崇 青年局長代理 (衆)
佐藤 啓 青年局長代理 (参)
中曽根康隆 青年局国際部長 (衆)
西野 太亮 青年局国際副部長 (衆)
山口 晋 青年局国際副部長 (衆)
麻生 将豊 日本青年会議所会頭

ほか計12名

【主な日程】5月4日～6日

政権幹部表敬(4日)

蔡英文総統

游錫堃立法院長(国会議長)

陳建仁行政院長(首相)・鄭文燦副院長

食事会(4日)

頼清徳副総統主催昼食会

呉釗燮外交部長(外務大臣)主催夕食会

蘇嘉全台湾日本関係協会会長主催夕食会(6日)

政党幹部・市長表敬

蔣萬安台北市長(4日)

朱立倫国民党主席(5日)

陳其邁高雄市長(6日)

経済界・民間団体交流(5日)

三三会青年会(経済団体若手)

中国青年救国団(民間青年育成団体)

その他

安倍晋三元総理銅像視察(5日高雄市)

中曽根康弘元総理旧居視察(〃)

【今回の台湾訪問の意義】

蔡英文政権の幹部(総統・副総統・国会議長・首相・外務大臣)への面会では、CPTTPへの加入、WHO等国际機関への参加に対する日本側の後押しについて強い期待感が示された。

青年局からは東日本大震災被災地の食品輸入規制の完全撤廃、ALPS 処理水の海洋放出への理解を求めた。

それ以外にも災害対応の知見共有、半導体の製造・供給、エネルギー問題、民間レベルや若い世代同士の交流促進等について意見交換を行った。

野党・国民党訪問時には、過去に同党が食品の輸入規制継続を訴えていた経緯を念頭に「静かな環境で撤廃決定を」と要請した。

来年1月13日に控えた大統領選挙に関しては、民進党がすでに頼清徳副総統を候補者に決定している。一方、国民党は侯友宜新北市長と鴻海精密工業の創業者・郭台銘氏が指名を巡って争っており、世論調査の情勢などをもとに今月中下旬に決定される見込み。本格的な選挙キャンペーンに入る直前の風の雰囲気を感じられた。

地方都市の訪問先として選んだ高雄市では、安倍晋三元総理の銅像や中曽根康弘元総理が海軍主計大尉時代に住んでいた日本家屋を視察し、日台の歴史的なつながりや心を通わせ合う関係についてより深く考える機会となった。

政権幹部、政党、首長、民間団体など、多

方面にわたる一連の日程が実現したのは、台湾側が青年局を日台交流における大切なパートナーとして認識し、期待いただいている表れと受け止めている。

引き続き日台交流の基幹ルートのひとつとして、活発な活動を続けていきたい。

